

平成 30 年度総会議事録

公益社団法人 高知県診療放射線技師会

日 時 令和元年 6 月 16 日（日） 15：00～16：10

場 所 総合あんしんセンター3 階 大会議室

出席者 監事 2 名、理事 18 名

出席監事名 清水雅明、楠瀬正哲

出席理事名 巴 昭彦、高橋宏幸、伊東賢二、藤田純二、中村伸治、大野貴史、柳本禎久、
板山和幸、岡林史朗、三好裕司、佐々木俊一、楠永倫也、中田暢将、足達麻衣、
菊地真司、大川剛史、萩野孝弥、山中こず恵。

欠席理事名 秋田和宏

1. 開会の辞

高橋宏幸副会長により平成 30 年度定時総会の開会宣言を行った。

2. 会長挨拶

本日の総会への出席に感謝を表し、これからの技師会の活動に協力をお願いした。

3. 表彰ならびに記念品贈呈

巴昭彦会長より高知県診療放射線技師会表彰者に対し下記の各賞を授与した。

1) 勤続 25 周年表彰

36869	小笠原光孝	高知赤十字病院
37007	山崎 教弘	高知県立幡多けんみん病院
37133	市川 邦雄	高知西病院
37218	三好 裕司	高知赤十字病院
37330	岡村 治郎	くぼかわ病院
37606	佐々木俊一	高知大学医学部附属病院
38694	岡本 彰史	岡村病院

2) 学術奨励賞表彰

69220	林 直弥	高知大学医学部附属病院
-------	------	-------------

以上で表彰を終了し、議事に移った。

4. 総会運営委員会報告および議長選出

1) 総会運営委員会報告について

総会運営委員会委員長、尾立隆史より総会出席状況について下記のとおり報告がされた。

出席者数	43 名
委任状数	85 名
計	128 名

上記総会出席者数は、定款第 23 条に示す総会員数 190 名の過半数にあたるため、本総会が成立したとの宣言がされた。

5. 議長選出

総会運営委員会は定款第 21 条、総会議事規程第 9 条（1）に従って、出席した会員の中から議長として「廣瀬泰久」氏を指名し、満場異議なく承認した。

議長壇上、挨拶の後、総会議事規程第 9 条に基づき、書記、採決係を指名した。また、総会式次第に則り議事運営が円滑に進行するように協力を要請した。

書 記	高橋良幸	高橋宏幸
採 決 係	池田憲昭	淵上伸一

議長は、総会運営委員会の報告通り本会が成立しているため、直ちに議事に入り、会長に議案について説明を求めた。

6. 議 事

1) 第 1 号議案

①平成 30 年度事業報告

議長は、総会運営委員会の報告通り本会が成立しているため、直ちに議事に入り、巴 昭彦会長に議案について説明を求めた。

巴 昭彦会長から、総会資料に基づき平成 30 年度事業報告について説明がなされた。

会員の動向は、新入会員が 7 名、転出 1 名、転入 1 名、物故者が 1 名（名誉会員の楠瀬正）、会員数は 209 名。また、勤続 25 年表彰者 7 名、学術奨励賞 1 名。会議については、総会 1、理事会 6 回、常務理事会 12 回開催した。

総括として、学術大会では特別公演として日本診療放射線技師会長中澤氏を招き、診療放射線技師をとりまく環境の変化や今後の在り方について講演をいただいた。7 月のフレッシュャーズセミナーや業務拡大に伴う統一講習会、サーベイメータ校正の講習会、10 月にはリレーフォーライフに参加した。

このように、公益社団法人として決められた事業をこなしながら、会員の要望にこたえたイベントをできるだけ多く行った。

診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業として、平成 30 年度も 2 月に学術大会を開催し、演題数は 14 題あり成功裡に終えることができた。また、業務拡大に伴う統一講習会は 2 会場で開催した。更に、第 1 回講習会としてアンギオ装置について、西南地区では漏えい線量測定について、第 3 回は Ai 基礎講習会などを開催した。公 1 の事業として、十分な活動ができた。

放射線の安全管理及び放射線障害防止に関する事業としては、サーベイメータの校正と漏えい線量測定、リレーフォーライフでの医療被ばく相談を行った。

この中で、漏えい線量測定の依頼が多数あり 18 件の依頼を受けた。会員の皆様には多忙な中、測定検査の依頼をさせていただいたが、今年も協力をお願いする。

診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業として、新人に対するフレッシュャーズセミナーと管理職に対する技師長会を本年度も開催した。この研修会の内容を実践し、患者に還元していく。

その他、会員の福利及び相互扶助に関する事業として、表彰や求人の対応やレクリエーションを行っている。また先の予定であるが令和 2 年度には創立 65 年の記念事業を行う予定である。会員の皆様もぜひ記念事業への協力をお願いする。

更に、本会の目的達成のために必要な事業として、理事会、常務理事会、地区会等を開催する。また、会員への情報提供手段として、技師会だよりの発行をする。

②平成 30 年度決算報告

引き続き、高橋宏幸副会長より、平成 30 年度決算報告書に基づき、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録について説明された。

収入について、漏えい線量測定の依頼の増加につき、増加しているが、会員数が若干減ったのでその分減っている。支出については、漏えい線量測定の検査員の交通費支出と中四国フォーラム(広島)での広報活動のため補助の交通費を支出した。技師会だよりの増加、チラシの増加により通信費が増加している。また、プリンターを購入したため、前年比で 18 万円支出が増加している。収支全体としては収入が支出を上回っている。来年度は、補助の交通費支出がないので収支は前年度同様になる見通し。

2) 第 2 号議案

①平成 29 年度監査報告について(清水雅明監事)

清水雅明監事より、総会配布資料に基づき平成 30 年度監査報告が行われた。

議長は第 1 号議案、第 2 号議案について議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

3) 第 3 号議案

①令和元年度事業計画について

巴 昭彦会長より、総会資料に基づき令和元年度事業計画について説明された。

今年度最大のイベントとして、中四国放射線医療技術フォーラムを 9 月 21 日・22 日高知市で開催するが、例年通り公益社団法人として行う、(公 1)診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業、(公 2)放射線の安全管理及び放射線障害防止に関する事業、(公 3)診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業も行う。また、学術大会を開催する。放射線の安全管理及び放射線障害防止に関する事業については、サーベイメータの校正講習会と漏えい線量測定の依頼を受ける。漏えい線量測定については、既に 3 施設から依頼があり、高知市の保健所、須崎市の診療所からも測定依頼の問い合わせがあった。

診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業については、6 月 30 日にフレッシューズセミナーを開催する。多くの新人技師の参加を望む。

技師長会は毎年年度末に開催しており、多くの技師長および中堅の参加を望む。総会のあと地区会では、地区企画の勉強会や会員の福利及び相互扶助に関する事業について検討いただきたい。本会で会場を提供し協力したい。

中四国放射線医療技術フォーラムでは、会員の皆様に、まずは参加協力、そして演題発表、また、当日のスタッフとしての協力もお願いする。

②令和元年度予算案について（巴昭彦会長）

巴昭彦会長より、総会資料に基づき令和元年度予算について説明された。

受取り会費に関しては、正会員は 210 名で計算した。現在は 202 名であるが、すでに 3 名の入会申し込みがあり、年間の入会者を予想し 210 名で計算している。賛助会費は、昨年の実績と同じ 21 万円で計算した。事業収益に関しては、広告収益が昨年の実績と同じ 9 万円、事業委託費は漏えい線量測定が増えているが少なく見積もっている。経常収益は昨年予算より少し増えている。事業費支出に関しては、漏えい線量測定が減少する可能性もあるため、測定員の交通費を昨年実績より少なめに見積もった。管理費支出については、交通費が昨年の実績が 24 万円だったが、広島の中四国フォーラムの補助がないので、今年予算では減らしている。

質疑

廣瀬泰久議長より中四国放射線医療技術フォーラムの進捗状況について質疑があった。

回答

これに対して、伊東賢二副会長より以下の応答があった。

実行委員会は 7 回すでに開催されており、第 7 回目では、30 名ほど集まり、開催内容と当日のお手伝いをお願いを行ったところである。企画に関しては、テーマは「画像維新」として、プリシジョンメディソン（個別医療・精密医療）、ラデオミックス（放射線画像情報解析）、Ai（人工知能）など新しい考え方をベースに置き企画を考えた。一般演題は、150 題を目標に募っている。ランチョンセミナーは 5 社（キャノン、シーメンス、GE、フィリップス、日本メジフィジックス）をお願いしている。教育講演として、高知大学医学部医学部長に、これからの医学教育・研究はどうあるべきか、講演いただく。2 日目の朝には、モーニングレクチャーとして 4 演題を企画している。人工知能、データ構築をどのようにしていくのか、臨床では流体解析についてなどを予定している。シンポジウムとして、令和の時代に、医療画像はどうあるべきか、放射線技師の教育はどうやっていくのかを 4 人のパネリストを迎えて大いにディスカッションしていただく。市民公開講座は、変革の時代に人間の心はどうあるべきかをテーマにして、少林寺拳法の代表の方を招いて話をさせていただく。表彰や技術学会の代表理事、技師会の会長の講演、技術学会の特別企画、技師会の特別企画も予定している。

一般演題を 6 月 1 日～30 日の間募集をしており技師会・技術学会両会員に是非とも協力いただきたい。

議長は第 3 号議案について議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

4) 第 4 号議案

①その他

議長は、その他議案について議場提議を求めたが、提議はなかった。

5) 第 5 号議案

①役員選挙

選挙管理委員長の森 亮輔から、定款第 23 条に基づく選挙方法について説明された。
その後、理事、監事の候補者各人ごとに選任のための決議を行った。

選任された理事

巴 昭彦 (潮江高橋病院)	〈立候補〉
高橋 宏幸 (近森リハビリテーション病院)	〈立候補〉
伊東 賢二 (高知大学医学部附属病院)	〈立候補〉
藤田 純二 (いずみの病院)	〈立候補〉
中村 伸治 (近森病院)	〈立候補〉
大野 貴史 (高知医療センター)	〈立候補〉
柳本 禎久 (梶原病院)	〈立候補〉
板山 和幸 (木俵病院)	〈立候補〉
岡林 史朗 (幡多けんみん病院)	〈立候補〉
三好 裕司 (高知赤十字病院)	〈立候補〉
佐々木俊一 (高知大学医学部附属病院)	〈立候補〉
楠永 倫也 (J A 高知病院)	〈立候補〉
足達 麻衣 (高知生協病院)	〈立候補〉
菊池 真司 (高知赤十字病院)	〈立候補〉
大川 剛史 (大正診療所)	〈立候補〉
山中こず恵 (もみのき病院)	〈立候補〉
中田 暢将 (高知医療センター)	〈立候補〉
萩野 孝弥 (もみのき病院)	〈立候補〉
秋田 和宏 (須崎くろしお病院)	〈立候補〉

選任された監事

清水 雅明 (自 宅)	〈立候補〉
楠瀬 正哲 (下司病院)	〈立候補〉

各候補者が満場一致で選任の承認を得て、役員選挙を終了した。

7. 閉会の辞

以上にて本総会は終了し、伊東副会長が円滑な議事進行に協力いただいたことに謝辞を述べ、平成 30 年度総会の閉会を宣した。

令和元年 6 月 24 日

公益社団法人 高知県診療放射線技師会

捨印欄

議 長 廣瀬 泰久 ㊞

会 長 巴 昭彦 ㊞

副 会 長 高橋 宏幸 ㊞

副 会 長 伊東 賢二 ㊞

理 事 中村 伸治 ㊞

理 事 藤田 純二 ㊞

理 事 大野 貴史 ㊞

理 事 大川 剛史 ㊞

理 事 足達 麻衣 ㊞

理 事 三好 裕司 ㊞

理 事 佐々木俊一 ㊞

理 事 山中こず恵 ㊞

理 事 柳本 禎久 ㊞

理 事 板山 和幸 ㊞

理 事 岡林 史朗 ㊞

理 事 楠永 倫也 ㊞

理 事 中田 暢将 ㊞

理 事 菊地 真司 ㊞

理 事 萩野 孝弥 ㊞